

代表質疑

9月5日の本会議で、各交渉会派（所属議員3人以上の会派）の代表者5人が平成29年度決算について質疑を行いました。要旨は次のとおりです。

自治体本来の責務を全うし 市民本位の市政運営に努めよ



日本共産党 大城 美幸 幹事長

議員 三鷹中央防災公園・元気創造プラザが昨年4月にオープンした。市民や利用者から寄せられた意見や要望・苦情のうち、何が改善できていないか伺う。
市長 例えばプール等の1時間利用料金の設定や運用等について、現時点で対応できていないものは、今年度も検討を継続している。
議員 社会教育会館は無料で利用できたが、生涯学習センターとなり有料化された。活動を制限、停止した団体等はないか伺う。
スポーツと文化部調整担当部長 活動がでなくなったり、支援を求める申し出はほとんどなかった。
議員 特別養護老人ホームどんぐり山の廃止決定は遺憾だ。廃止方針決定前に、利用者や市民、議会に説明し、理解を得る努力をすべきだったのではないか。
市長 昨年来、行政報告や一般質問に答える形で議会に考え方を伝えた。また高齢者計画・第七期介護保険事業計画の策定時に市民にも検討してもらった。こうした経緯を経て、廃止条例の承認をもらっている。



生涯学習センターの学習室

議員 国民健康保険の都道府県単位化への準備に当たり、一般会計からの繰入れを増やして国保税を引き下げる検討はしなかったか。
市長 市民負担の公平性の観点から理解を得るのは難しいと判断している。
＜その他の質問＞市庁舎等整備/待機児童解消/保育の質の確保/介護保険/平和の取り組みについてなど

人のいのち・暮らし・人生 を支える市政を



いのちが大事 嶋崎 英治 幹事長

議員 井の頭文学施設（仮称）整備事業についてパブリックコメントの意見を尊重し見直したことは正しい選択であった。事業見直しについての総括を伺う。
市長 今回の見直しは、文芸者及び遺族の名譽を守り、市議会の意見を反映し、市民の声を真摯に受け止め、熟慮して判断した。
議員 三鷹市庁舎等整備基本構想策定に向けた基本的な考え方については広く市民の意見を聞き策定すべきであった。なぜそのような手法をとらなかったのか。
市長 重要な政策の方向性を決定する際には市民の声をとりまとめ、市議会の意見を伺いながら進めることが必要なことと考える。当該年度も市民意向調査やまちづくりディスカッションを実施している。
議員 三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業の総括と今後の都市整備事業

行財政改革の推進に努め 健全で安定した市政運営を



自由民主クラブ 渥美 典尚 幹事長

議員 いまだに多くの市民が不景気感を抱いていると考える。国の経済状況及び国民・市民との景況感の差異について所見を伺う。
市長 国のいわゆる「骨太の方針」によると企業収益は過去最高を更新し、雇

総務部調整担当部長 自治体にとって倫理観は大変重要なものと認識している。

議員 三鷹中央防災公園・元気創造プラザに係る利用者からの意見・要望への対応について伺う。
市長 当該施設をより使いやすい施設にするための貴重な意見・要望を受け止め、可能な限り迅速に対応し、改善に努めた。

人生100年時代を踏まえ 多様な行政サービスを



公明党 粕谷 稔 幹事長

議員 平成29年度決算は、法人市民税の大幅な減少やふるさと納税の影響等があった。今後の市政運営に向けて、こうした課題に対する市の所見を伺う。
市長 税収の増加を必ずしも前提としない緊縮財政を想定した自治体経営を進めるとともに、クラウドファンディングにも挑戦した。今後も三鷹らしい寄付文化の醸成が求められている。
議員 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの災害時機能転換の検証も兼ねて、災害時応援協定を締結している団体等との連携訓練が実施された。応援協定に基づく連携のあり方を伺う。
総務部長 訓練後、全機関会議を開催し課題抽出を行

△構築へ向けて、介護等福祉人材の確保について、今後の見直しなどどのような検討が行われたのか伺う。

市長 積極的な支援の要望、意見が多かったため、

行政と市民が意識を 共有する市政運営を



民主緑風会 岩見 大三 幹事長

議員 昨年の地方自治法の改正で、都道府県や指定都市に対して、事務の適正な執行を確保するための内部統制の体制整備が義務化された。本市もリスクマネジメントの観点から整備すべきと考える。所見を伺う。
市長 今後、都道府県や指定都市の取り組みを学びながら、検討していきたい。
議員 本市は行財政改革アクションプラン2022の推進など事業の効率化を進めてきた。コスト削減、行財政改革の取り組みを伺う。
市長 学校給食調理業務委託化や、三鷹中央防災公園・元気創造プラザへの指定管理者制度の導入等で、職員定数の適正管理を進めた。
議員 都市再生の意義と必要性を多くの市民と共有すべきと考える。その上で、30年度から研修受講料の助成等の事業を開始した。
＜その他の質問＞井の頭文学施設（仮称）整備/庁舎建替えの調査研究/女性活躍の推進についてなど
公共施設の再配置、耐震化の取り組みと成果を伺う。
市長 三鷹中央防災公園・元気創造プラザの完成で公共施設の再配置は一定の成果を見た。また、教育センター、水再生センターの耐震補強工事も着手している。
議員 深刻な子育て世帯の貧困問題に対して、未来への投資という観点から積極的に対応すべきと考える。
市長 児童扶養手当の支給や医療費助成等を行うとともに、未来への投資という観点から子どもたちの学習支援事業等に取り組んでいる。
議員 雇用情勢の悪化や高齢者の進展等で、生活保護受給者は増えている。市が取り組んできた就労支援の成果と今後の対応を伺う。
健康福祉部長 昨年度実績は、新規就労者72人、保護廃止14世帯となっている。今後も一人一人の状況に応じた支援に取り組みたい。
＜その他の質問＞自転車ナビマークの設置/災害情報システムの導入/認知症対策の考え方についてなど
代表質疑・一般質問の模様は市議会ホームページでご覧になれます。



耐震補強等の工事が進む教育センター